

「Fukuoka Art Next」 今月のアート（6月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしのなかで身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進します。

市民がアートを身近に感じられるよう、福岡で活躍しているアーティストの作品を、月初めの定例会見において紹介します。

■ アーティストについて

瀬戸口 朗子（せとぐち あきこ）

1980年佐賀県嬉野市生まれ、福岡市在住。2002年佐賀大学文化教育学部（美術・工芸課程西洋画専攻）卒業。現在は福岡市の公立中学校の職員として勤務しながら制作活動をおこなっているアーティストで、福岡や佐賀を中心に多くの発表歴があります。

自然の風景に着想を得た、柔らかな筆致による、心象風景を描いた作品を多数あげています。

■ 作品について



作家名：瀬戸口朗子
作品名：森の中庭
制作年：2017年
材質技法：アクリル、胡粉・綿布
サイズ：41×60.6cm

森の先にある「何か」を見つけようとする心の動きを作品に表現しています。新しい世界へ足を踏み出そうとするときの、とまどいつつも期待をいただく感情が表されています。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課

担当：岩永、山木

TEL：714-6054 FAX：714-6145

e-mail：yamaki@fukuoka-art-museum.jp